

# 12月 休日在宅医・休日診療所

|     | 6日(日)                                                          | 13日(日)                                                       | 20日(日)                                                          | 27日(日)                               |
|-----|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 外科  | 小林記念病院<br>(新川町)<br>☎(41)0004<br>9時～12時、<br>13時～17時             | 作塚杉浦クリニック<br>(作塚町)<br>☎(42)5327<br>9時～12時、<br>13時～17時        | 小林クリニック<br>(立山町)<br>☎(43)0388<br>9時～12時、<br>13時30分～17時          | 長田医院<br>(源氏町)<br>☎(42)1200<br>9時～17時 |
| 内科  | 休日診療所 (保健センター) ☎(48)4141 9時～12時、13時30分～17時                     |                                                              |                                                                 |                                      |
| 歯科  | 休日歯科診療所 (前浜町 4-22) ☎(46)3700 9時～12時                            |                                                              |                                                                 |                                      |
| その他 | 産婦人科<br>岡村産科婦人科<br>(沢渡町)<br>☎(41)2726<br>9時～12時、<br>12時45分～17時 | 耳鼻咽喉科<br>奥田医院<br>(若宮町)<br>☎(41)1025<br>9時～12時、<br>14時30分～17時 | 眼科<br>オオノ眼科クリニック<br>(野田町)<br>☎(46)3733<br>9時～12時、<br>13時30分～17時 |                                      |

- ・17時以降の夜間に、急病でお困りのときの病院案内は救急医療情報センター ☎(36)1133
- ・休日在宅医の変更がある場合もあります。お出かけの前に医療機関へ問い合わせてください。



## きてみて図書館

今月の  
3冊



問

図書館本館 ☎(41)0894  
中部分館 ☎(41)1980  
南部分館 ☎(42)8211

### ふるさとって 呼んでも いいですか

ナディ／著  
大月書店



6歳の時に、両親、弟とイランから日本へやってきて、そのまま日本で暮らすことになったナディという少女が、34歳になった時に日本に対する気持ちを書いた本です。ナディは言葉も何も知らないまま日本に来て、働く両親の代わりに弟の面倒をみながら、知恵を使い、努力もして、日本で進学・就職し、二児の母になりました。「つらい時期もたくさんあった」と書かれています。この本は少しも暗い感じではなく、生きることに満ちた明るい文章で書かれています。多くの外国から来た方が生活している日本の社会。その当事者の体験や気持ちを知ること、日本の制度の実情や、共生の社会をどう作っていくのがよいのかを考えるきっかけをくれる本です。

### 何が獲れるかは、 自然が決める 予約注文、 お断りします。

谷田 圭太／著  
春陽堂書店



この本は「天然食材ハンター」が書いています。天然食材ハンターとは、簡単にいえば、自然に生息する動物や自生する植物を獲って、食材として飲食店に提供することを仕事としている人です。鹿や猪を獲るのが猟師、魚なら漁師ですが、天然食材ハンターは山のもので海のものでもなんでも捕獲できるよう、豊富な知識と経験が必要なため、だれもがなれるわけではありません。また、食材を傷つけないよう危険な動物でも素手で捕獲しなければなりません。本書では、そんな自分の得意なこと、好きなことを仕事にするまでの苦労と工夫や、著書が考える未来の「食」についてつづられています。世にもめずらしいプロフェッショナルの流儀をあなたも味わってみませんか。

### 清須会議 一秀吉天下取りの スイッチは いつ入ったのか?

渡邊 大門／著  
朝日新聞出版



本能寺の変によって織田信長とその嫡子信忠が急死したため、織田家では早急に後継者を決めなくてはなりません。そのために開かれたのが清須会議です。通説では、織田家の家臣団が信雄派（信長の二男）と信孝派（同三男）に別れて激しく対立したのを、羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）が信忠の嫡子三法師を後継者に担ぎ出し対立を収めたといわれています。諸説ありますが清須会議が秀吉躍進のきっかけになったようです。本書では清須会議を軸に秀吉の天下取りへの道のりを丹念に検証しています。現存する資料を読み解いた上で書かれているため歴史小説とは異なった秀吉像が楽しめます。また、信長亡き後の織田家の衰退など小説ではあまり描かれないことも載っていますので、戦国時代に興味のある人は読んでみてください。

毎月第3日曜日は「へきなん子ども読書の日」